

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.360 2018.4.11 連絡先 402-1622 >

## 講演 ゴジラから読み解く平和憲法

4月7日（土）伊藤宏氏による上記の講演会がありました。

「ゴジラ」は1954年から2004年まで28作品、2016年には「シン・ゴジラ」が作られました。

第1作は1954年11月3日に公開、同じ年の3月1日、ビキニ環礁での水爆実験が行われ「第5福竜丸」などが被爆しました。「ゴジラ」は水爆実験の結果誕生したものとされ、作品には、核兵器に対する「怒り」が一貫して主張されていました。シリーズの中では、たびたびゴジラを倒すために核兵器の使用が提案され

ますが、非核三原則の考えで一度も使用されることはありませんでした。また、初期の作品の中には、日本国憲法の「国民主権」「平和主義」「基本的人権」や男女平等、言論の自由など、戦前とは違う新しい社会の息吹と期待をうかがわせる描写も盛り込まれています。

2016年の第29作「シン・ゴジラ」では現在の日本の置かれた状況などがほぼ忠実に再現されています。自衛隊の出動や民主主義の手続き、「国民の生命及び私有財産への損害もやむをえない」というセリフなどからみて、第1作は日本国憲法を常に思い起こさせる内容だったのが、第29作では憲法改正の必要性を訴えるような内容になっています。二つのゴジラ作品で描かれる日本国憲法の意義に大きな違いがあることを見過ごすことはできません。

以上、お話を聞いて、また頂いた冊子を読んだの私（松坂）の気になったところを書きました。「ゴジラ」にこのような深い見方があることを初めて知り、作品を見たくくなりました。



ものを言う時です。「あきれられない」と言っている。今、はきつちり「こんな政権いりません！」



森友関係も財務省がいたとか。これらの問題、愛媛県知事が言うように、国もはっきり真実を言うべきでしょう。

### みち子のひとりごと 要りません

さらに、加計学園に関する。森友関係も財務省が

出す。これほど、国会・国民をバカにし、憲法がないがしろにした政権があったでしょうか。

財務省は改ざんした文書を国会に提出、防衛省はないと言っていた日報が実はあった、しかも1年以上も前に見つかっていた、厚生労働省は政府に都合のいいようにデータをねつ造、文部科学省は中学校の授業の内容に口を

それにして次から次へと出てくる出てくる…お宝ならありがたいのですが、隠していた文書のことです。腹も立ちますが、あきれ

こんにちは

井本ゆづいちです



私がアニメ映画「風の谷のナウシカ」を初めて観たのは和高原の寮祭でした。当時アニメ映画は子供向けの要素が強く、期待値ゼロで観たのですが、終わってみれば、大感動で、空手部員の級友がすすり泣いていたのを憶えています。

その「風の谷のナウシカ」でプロデューサーを務めた高畑勲さんが亡くなりました。日刊赤旗の潮流に、映画の題名を「風の戦士ナウシカ」に変えろと、映画会社や広告代理店が押しつけて、それは間違いだと主張した話が載っていました（左に掲載しました。松坂）。

# 潮流

アニメ映画「風の谷のナウシカ」のタイトルは「風の戦士ナウシカ」に。キャッチコピーは「人間はもういらないのか？」にしたほうがいい—▼映画会社や広告代理店が押ししてきた扇情的な提案。それに対して作品の内容からみて間違っていると主張したのが、この映画でプロデューサーを務めた高畑勲さんでした。スタジオジブリ代表の鈴木敏夫さんが『ジブリの仲間たち』に記しています▼ばく大な宣伝費をかけ、ヒットを仕掛け、大量消費していく。映画とはそういうものではない。この作品の根底には自然に対して人間はどのようにかかわるべきかというテーマがあると▼テレビアニメの「アルプスの少女ハイジ」や映画「火垂（ほた）るの墓」「平成狸合戦ぽんぽこ」…。そこには生命の輝き、人びとの生活や子どもたちへの限りない愛情があふれていました。同時に、それをおびやかすものへの怒りや警鐘も▼9歳のときに岡山市で空襲にあい、九死に一生を得た高畑さん。憲法9条を守るために声をあげ続けました。周りに同調する日本人の「ずるずる体質」を嫌い、過去の反省や人間の理性が欠けた政治をきびしく批判しました▼「安倍政権に対抗する確かな背骨であり、ぼくにとっての指標」と共産党に期待を寄せてくれました。特定秘密法に反対する映画人の会をともに結成した山田洋次監督は「日本の映像文化の世界でもっとも大切なひとり、いなくてはならない人を失った」。表現者として命と平和の尊さを貫いた82年の人生でした。

2018年4月8日(日)

会場が  
変わりました！

お間違いのないように  
よろしくね

## 憲法を考える夕べ これからの日本 憲法と教育の危機

政治と行政の歪みを追及してきた  
前川喜平と寺脇研が熱く語る！

講演① 前川喜平氏

講演② 寺脇 研氏

4月27日 (金)  
県民文化会館 大ホール

会場 午後5時30分  
開演 午後6時00分

主催：青年法律家協会和歌山支部